



代理店アセンド製品御担当者殿

平成9年2月24日

アセンド・コミュニケーションズ

VOL.9703

Product Update

Pipeline75の販売開始のお知らせ

Pipeline75のJATE認定を取得しましたので、日本での販売開始をお知らせします。
なお、'96年Product Update Vol.10でアナウンスしましたように、Pipeline25シリーズの最終受注日('97年2月21日)を過ぎまして、アナログポートを持つPipeline製品は、在庫でもたれているPipeline25製品を除き、このPipeline75のみとなります。

(1)製品名、製品番号、価格

<u>製品番号</u>	<u>製品名</u>	<u>価格 (INT LP)</u>
P75-1SBRI-J	Pipeline 75 w/IP/IPX Routing, Compression	\$ 995

(2) JATE 認定番号

T97 - 5015 - 0

(3) 日本語マニュアル

Pipeline 75 日本語マニュアルは、現在翻訳作業中です。現在の予定は、2月末までに、ドラフト版の完成、その後内容をチェックを行った後、印刷の予定です。

製品に標準添付での出荷は、4月初旬を目指しております。

(4) 販売上の注意

Pipeline 25シリーズに代わるアナログポートを搭載した機種となるPipeline 75ですが、現時点では、そのアナログポートに関して、次のようないくつかの不具合が判明しております。

ダイアルトーンの周波数

現状のダイアルトーンの周波数が、400Hzより高い。

Phone X Usage = None に設定時の不具合

ダイアルインに加入していない番号(グローバル着信番号)で着信が入った場合、Phone X Usage = None に設定しているにもかかわらず Call が "None" に設定された Port へ Routing されてしまう。



Busy Tone 生成に関する不具合

通話終了後、Pipeline 75 に接続された電話機を長時間 Off-Hook した状態において、約 30 秒間は、網側から B-ch を使用し Busy Tone が送られますが、その時間を経過した場合、網はその B-ch を切断します。その後の動作として Pipeline 75 では、引き続き Busy Tone を生成しなければなりません。現状では、無音となります。

(これは、Pipeline 25 シリーズでは、フィックスされています。)

網に対するレスポンスの不具合

通話中着信通知サービスにより、Call Preemption 機能を使用できますが、MP+の通信ではなく電話で 2B、または電話とデータで 1 B ずつ使用している場合において、さらに外部から音声の着信が D-ch 上で通知された時、網に対してノーレスポンスとなります。

これらの不具合に対する対応について

最新リリース 5.0A による、上記項目の再チェックを行うと平行して、バグフィックス作業を本社にて行っております。

改善され次第、改めてお知らせ致します。

以上